

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－82））」

2. 日時：令和3年10月20日（水） 16時00分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、森野安全審査専門職

日本原燃(株) 再処理事業部 土木建築部 部長 他2名

九州電力(株) テクニカルソリューション統括本部  
土木建築本部 原子力土木建築部長

大成建設(株) 原子力本部 原子力構造技術部 専任部長代理 他1名

5. 要旨

本日午前中に実施したヒアリングにおいて、日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、本日提出予定であった飛来物防護ネットの耐震性に係る資料の提出が遅れるとの説明を受けたことから、入力地震動を算定する解析モデルに関する検討状況について、日本原燃から口頭で説明を受けた。

規制庁から、日本原燃に対し、解析モデルの設定等は重要なポイントであり、上位者による論点の把握や技術的見極めに基づく意思決定の徹底をはかるとともに、論理立てた説明をするよう伝えた。

6. その他

提出資料

なし